東芝マルチシステムエアコン用〈蓄熱ユニット〉T型分岐ジョイント（R410A用）据付説明書

形名

RBM-BT23-CT

“安全上のご注意” については、エアコン本体の据付説明書の記載事項をお読みになり、お守りください。
- 本品には右表の部品が入っていますので、ご確認ください。
- 冷媒配管の配管材質・サイズの選択については、エアコン本体の据付説明書をごらんください。

部品

（注）寸法はmm、（ ）有は外径寸法、（ ）無しは接続される配管の径を示します。

形名 / 品名	RBM-BT23-CT（T型分岐ジョイント）			
	分岐管	ソケット形状	○番	ソケット寸法
ガス側	φ28.6 φ28.6 φ28.6 3個	接続配管径 （外径）	㊸ ㉒ ⑲	φ22.2×(φ28.6)4個 φ22.2×(φ25.4)3個 φ19.1×(φ25.4)1個
	φ25.4 φ25.4 φ25.4 3個			
液側	φ15.9 φ15.9 φ15.9 3個		⑨ ⑥	φ12.7×(φ15.9)6個 φ9.5×(φ15.9)1個
据付説明書	本紙 1枚			

⚠警告

- **据え付け工事中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気を行うこと**
  漏れた冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- **据え付け工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認すること**
  冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

配管接続図

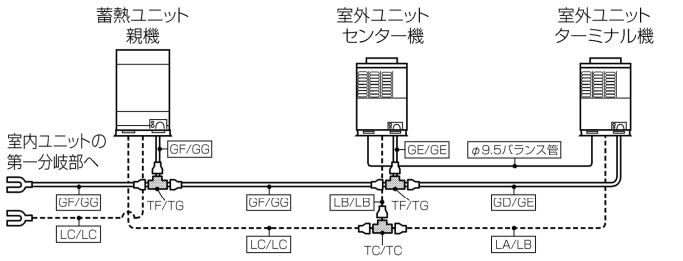
詳しくはエアコン本体の据付説明書をお読みください。

蓄熱ユニット 1槽の場合

凡例
- …ガス管
- …液管
- …バランス管
- …チーズ（同梱品）
- …ソケット（同梱品）

表示例 16HP/20HP

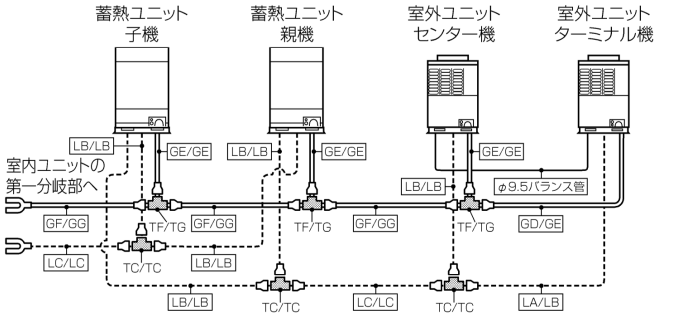
ガス管	液管	チーズ
GD：φ19.1	LA：φ9.5	TC：φ15.9
GE：φ22.2	LB：φ12.7	TF：φ25.4
GF：φ25.4	LC：φ15.9	TG：φ28.6
GG：φ28.6		



各システムによるチーズとソケットの使用例 注.( )は外径寸法を示し、( )なしは接続する配管径を示します。

	16HP		20HP	
	チーズ	ソケット	チーズ	ソケット
ガス管	φ25.4 2個	㉒φ22.2×(φ25.4)1個 ⑲φ19.1×(φ25.4)1個 （本体同梱の接続パイプ1個使用 φ22.2×(φ25.4)）	φ28.6 2個	㊸φ22.2×(φ28.6)2個 （本体同梱の接続パイプ1個使用 φ22.2×(φ28.6)）
液管	φ15.9 1個	⑨φ12.7×(φ15.9)2個 ⑥ φ9.5×(φ15.9)1個 （本体同梱の接続パイプ1個使用 (φ12.7)×(φ15.9)）	φ15.9 1個	⑨φ12.7×(φ15.9)3個 （本体同梱の接続パイプ1個使用 (φ12.7)×(φ15.9)）

蓄熱ユニット2槽の場合



ご参考 配管の接続パターンは上記以外の方法もあります。詳しくはエアコン本体の据付説明書をごらんください。

配管接続図（つづき）

各システムによるチーズとソケットの使用例 注.( )は外径寸法を示し、( )なしは接続する配管径を示します。

	16HP		20HP	
	チーズ	ソケット	チーズ	ソケット
ガス管	φ25.4 3個	㉒φ22.2×(φ25.4)3個 ⑲φ19.1×(φ25.4)1個	φ28.6 3個	㊸φ22.2×(φ28.6)4個
液管	φ15.9 3個	⑨φ12.7×(φ15.9)5個 ⑥ φ9.5×(φ15.9)1個	φ15.9 3個	⑨φ12.7×(φ15.9)6個

お願い 冷媒配管許容長と落差の設置基準の詳細は、エアコン本体の据付説明書にしたがってください。

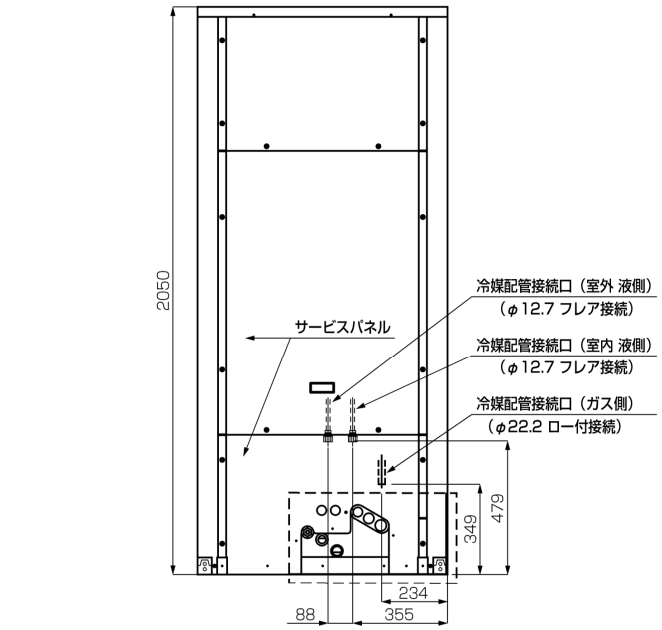
配管の接続

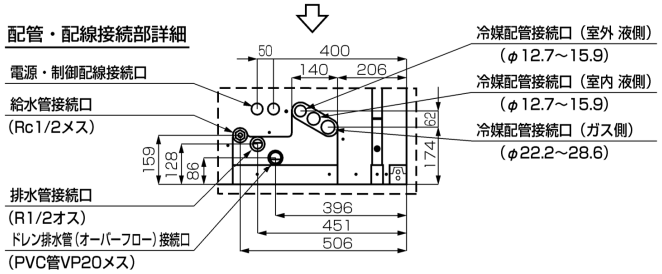
お願い 室外ユニットセンター機、ターミナル機、蓄熱ユニット親機、子機の据付位置、サービスに必要なスペースの確保等はエアコン本体の据付説明書にしたがい工事をしてください。

蓄熱ユニット

■配管の接続位置

配管接続前に、下図に示すサービスパネルを取りはずしてください。



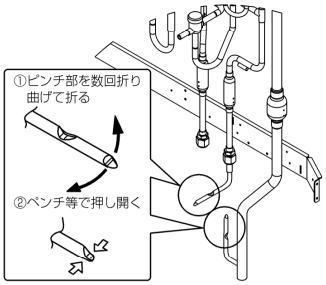


SN：EH59407501

配管の接続（つづき）

■配管接続時の注意事項

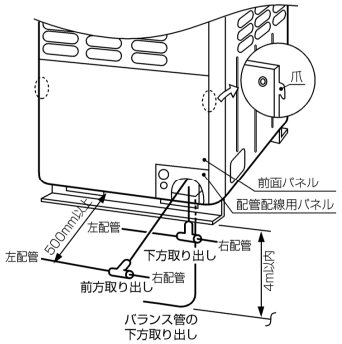
1．室外ユニットのパックドバルブが閉じていることを確認します。
2．蓄熱ユニットのサイクル配管先端にロー付されているパイプは、右記の要領でサイクル配管に封入されている窒素ガスを抜いてから、取りはずします。
窒素ガスを抜かずにパイプを取りはずすと、パイプが飛ぶ恐れがあり危険です。
①ピンチ部で数回折り曲げ、枝管を折ります。
②ピンチ部位置を⇨の方向にペンチで押し開き、製品に封入している窒素ガスを抜きます。

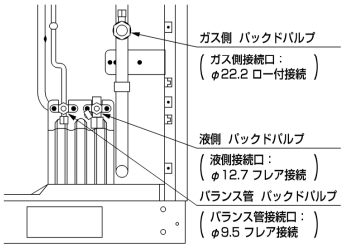


室外ユニット

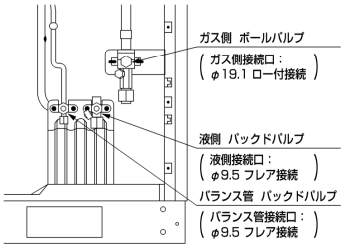
■配管の接続位置

冷媒配管接続部は、室外ユニット内部にあります。前面パネルと配管配線用パネルを取りはずしてください。（M5：9本）
●前面パネルには右図のように左右に1カ所ずつ引掛け用の爪がついています。前面パネルを上方へ持ち上げるように取りはずしてください。





8,10HP



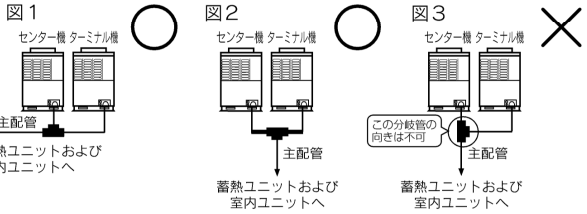
6HP

■配管接続時の注意事項

1.配管は室外ユニットの前方、下方へ取り出し可能です。
2.前方取り出しする場合、配管は配管配線用パネルを介して外部へ出し、サービス等を考慮して室外ユニットと室内ユニット間接続主配管の間を、500mm以上とってください。
（万一のコンプレッサ交換作業のためには、500mm以上のスペースが必要です）
3.下方取り出しする場合、室外ユニットの底板のノックアウト部をはずして室外ユニット外部へ配管し、左右あるいは後配管してください。
バランス管の下方引きまわしは、4m以内にしてください。
4.室外ユニット、蓄熱ユニットの付属配管は、ガス側配管の接続に用います。エアコン本体の据付説明書にしたがい使用してください。

■ガス側・液側分岐管の取り付け姿勢

T形分岐ジョイントの向きに注意してください。（図3のように主配管の冷媒流れが直接センター機に入り込む取り付けはできません）

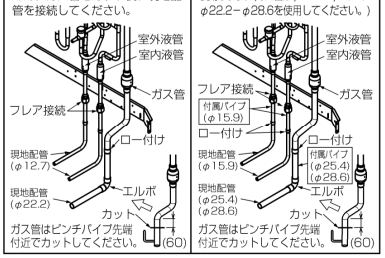


■ロー付時の注意事項

●ロー付の際は、配管内の酸化を防ぐため、必ず窒素ガスを通して行ってください。窒素を通さないと酸化スケールによる冷凍サイクルのつまりが発生します。
●冷媒配管はきれいな新品の配管を使用し、水分・ゴミを混入させないよう施工してください。
●配管カバーに現地接続配管を通し冷媒配管を施工して、ロー付する際は、直接仕切板にバーナーの炎が当たらないようぬれタオルや板金をあてがうようにしてください。

蓄熱ユニット配管接続方法

高効率タイプ（10HP～20HP）	省スペースタイプ（16HP・20HP）
付属の異径ジョイントは使用しません。ガス管をカット後、現地配管を接続してください。	液/ガス管共に付属の異径ジョイントを使用します。(ガス管はφ22.2→φ25.4、φ22.2→φ28.6を使用してください。)



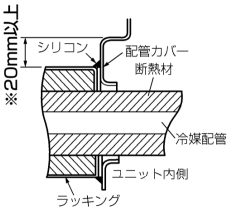
配管の接続（つづき）

フレアナット締め付けのお願い　フレアナットの緩め・締め付けは必ずダブルスパナで行ってください。片スパナで行うと必要な締め付けができません。締め付けは規定のトルクで行ってください。

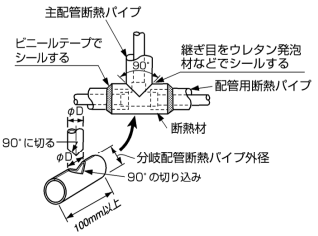
銅管外径	締付トルク（N・m）	銅管外径	締付トルク（N・m）
6.4mm	14～18（1.4～1.8kgf-m）	12.7mm	50～62（5.0～6.2kgf-m）
9.5mm	33～42（3.3～4.2kgf-m）	15.9mm	68～82（6.8～8.2kgf-m）

配管の断熱（現地手配）

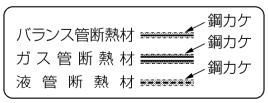
●ガス配管側・液配管側共必ず断熱してください。現地接続配管にロー付部までの断熱材を現地で準備して施工します。また屋外に露出の断熱材部は風雨に耐えるよう、ラッキングを施工し、配管カバーとラッキングの隙間は雨が入らないようにシリコンシーラントでシールします。
※はサービスカバー着脱のために必要です。
●蓄熱利用冷房運転時に、蓄熱ユニットと室内ユニット間の液冷媒配管が低温（5～0℃）になります。そのため、液冷媒配管への配管断熱は、ガス冷媒配管と同様にフレア接続部などへも十分に行ってください。
●万一、配管断熱が不十分な場合、露が付き、思わぬ漏水の原因になることがあります。



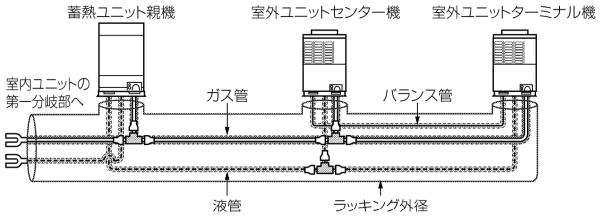
●分岐管の断熱は必ず液側・ガス側およびバランス管を別々に実施してください。
●分岐管用断熱材は付属していません。ガス側配管の断熱材は120℃以上の耐熱性のものを使用してください。
●分岐管部分の断熱は市販の継手カバー（チーズ用）厚さ15mm以上を使用して断熱するか、又は断熱材を図のように加工してください。
●分岐管部分は、露付あるいは水滴落下防止のためすき間がないようにに確実にシールしてください。



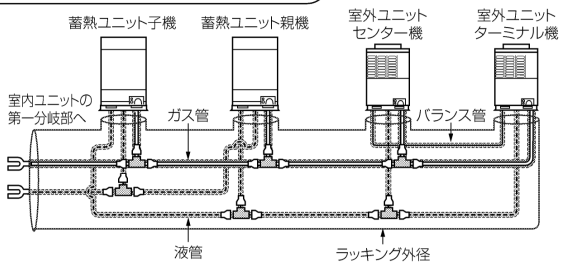
ラッキングの事例



蓄熱ユニット1槽の場合



蓄熱ユニット2槽の場合



気密試験の実施　…詳細は室外ユニットの据付説明書にしたがってください。

⚠警告

●気密試験では、必ず窒素ガスを使用すること　誤って酸素ガス・アセチレンガス・フルオロカーボンなどのガスを使用すると、爆発および中毒の原因になります。

窒素ガス（酸素および毒性ガスを除く）封入し、気密試験を実施します。
●試験圧力は3.73MPaです。
●必ず圧力計により気密試験中の試験圧力の管理およびリークディテクタ、または発泡試験液でガス漏れがないかチェックします。

エアパージ　…詳細は室外ユニットの据付説明書にしたがってください。

真空ポンプによるエアパージを行います。冷媒ガスによるエアパージは絶対に行わないでください。

◎その他、電気配線、試運転などについては、エアコン本体の据付説明書にしたがってください。